

日本国特許庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

#2  
mm  
10-30-01



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application:

2000年11月 2日

出願番号  
Application Number:

特願2000-336443

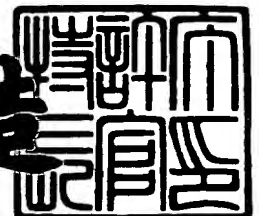
出願人  
Applicant(s):

コクヨ株式会社

2001年 1月26日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3001984

【書類名】 特許願

【整理番号】 2000221

【提出日】 平成12年11月 2日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明者】

【住所又は居所】 大阪市東成区大今里南 6 丁目 1 番 1 号 コクヨ株式会  
社内

【氏名】 南庄 幸彦

【特許出願人】

【識別番号】 000001351

【氏名又は名称】 コクヨ株式会社

【代理人】

【識別番号】 100085338

【弁理士】

【氏名又は名称】 赤澤 一博

【選任した代理人】

【識別番号】 100111349

【弁理士】

【氏名又は名称】 久留 徹

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 043362

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 材料加工システム、材料加工情報出力装置および材料加工情報出力方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 提供し得る材料に関する情報の入力を受け付ける材料情報受付手段と、提供し得る加工に関する情報の入力を受け付ける加工情報受付手段と、希望する材料および加工に関する希望情報の入力を受け付ける希望情報受付手段とを備え、前記材料情報受付手段および加工情報受付手段によって受け付け登録した情報に基づいて、前記希望情報受付手段によって入力された希望情報に対応する情報を出力する出力手段とを設けたことを特徴とする材料加工システム。

【請求項 2】 商品の構成要素に対する要求仕様に基づいて、提供し得る材料に関する情報の入力を受け付ける材料情報受付手段と、前記商品の構成要素に対する要求仕様に基づいて、提供し得る加工に関する情報の入力を受け付ける加工情報受付手段と、希望する材料および加工に関する希望情報の入力を受け付ける希望情報受付手段とを備え、前記材料情報受付手段および加工情報受付手段によって受け付け登録した情報に基づいて、前記希望情報受付手段によって入力された希望情報に対応する情報を出力する出力手段を設けたことを特徴とする材料加工システム。

【請求項 3】 提供し得る材料に関する情報を記憶する材料情報記憶手段と、提供し得る加工に関する情報を記憶する加工情報記憶手段と、希望する材料および加工に関する希望情報が入力されることに基づいて、前記材料情報記憶手段および加工情報記憶手段に記憶された情報の中から前記希望情報に対応する情報を出力する出力手段とを設けたことを特徴とする材料加工情報出力装置。

【請求項 4】 商品の構成要素に対する要求仕様を記憶する仕様情報記憶手段と、当該仕様情報記憶手段に記憶されている仕様情報に対応して登録された材料情報を記憶する材料情報記憶手段と、前記仕様情報記憶手段に記憶されている仕様情報に対応して登録された加工情報を記憶する加工情報記憶手段と、希望する材料および加工に関する希望情報が入力されることに基づいて、前記材料情報記憶手段および加工情報記憶手段に記憶された情報の中から対応した材料および加工

に関する情報を出力する出力手段を設けたことを特徴とする材料加工情報出力装置。

【請求項 5】 提供し得る間伐材に関する情報を記憶する材料情報記憶手段と、希望する材料および加工に関する希望情報が入力されることに基づいて、前記材料情報記憶手段に記憶された情報の中から前記希望情報に対応する情報を出力する出力手段を設けたことを特徴とする材料加工情報出力装置。

【請求項 6】 提供し得る材料に関する情報を受け付けて記憶するステップと、提供し得る加工に関する情報を受け付けて記憶するステップと、材料および加工に関する希望情報の入力を受け付けるステップと、前記希望情報の入力を受け付けた場合、前記記憶された材料に関する情報および加工に関する情報の中から対応した材料および加工に関する情報を出力するステップを有する材料加工情報出力方法。

【請求項 7】 商品の構成要素に対する要求仕様を開示するステップと、当該開示された要求仕様に対して、提供し得る材料に関する情報を受け付けて記憶するステップと、前記開示された要求仕様に対して、提供し得る加工に関する情報を受け付けて記憶するステップと、材料および加工に関する希望情報の入力を受け付けるステップと、前記希望情報の入力を受け付けた場合、前記記憶された材料に関する情報および加工に関する情報の中から対応した材料および加工に関する情報を出力するステップを有する材料加工情報出力方法。

【請求項 8】 提供し得る間伐材に関する情報を受け付けて記憶するステップと、間伐材に関する希望情報の入力を受け付けるステップと、前記希望情報の入力を受け付けた場合、前記記憶された間伐材に関する情報の中から対応した間伐材に関する情報を出力するステップを有する材料加工情報出力方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、種々の材料を加工して最終製品を作り出すシステムに関するものである。

【0002】

## 【従来 of 技術】

従来、複数の材料を一定の部品に加工して最終製品を作るような業界では、これらの材料調達過程や加工過程において不要な材料や加工設備などを発生していることが多い。例えば、木製品を利用して家具などを作る業界を例にとって説明すると、木材を育成する山林などでにおいては、林木の立木密度を均一にするために間伐作業を行ない、この作業によって生じた間伐材をそのまま山林に放置していることが多い。これに対し、山林を保有している市町村の森林組合などは、このような間伐材を利用して「丸太杭」などのような商品を作るようにしているが、丸太杭などのような商品は需要者のニーズに応えた商品ではないため、真に価値ある商品への活用ができていないという現状がある。

## 【0 0 0 3】

## 【発明が解決しようとする課題】

この原因としては、主に、一貫して物作りを行う企業や、需要者の要望を全て正確に把握している企業や情報網がないことなどが考えられる。すなわち、材料を供給する企業としては、種々の間伐材などの材料を保有しているものの需要者の希望するどのような商品に利用できるのか、もしくは、需要者の希望する商品に利用するとした場合であっても、これらの材料から加工することができるか否かなどの状況を把握していないこと、一方、供給された材料を加工して最終商品を作り出す企業としても、需要者から要望されている材料をどこの企業から調達したら良いのか等の情報を把握しきれていなかったことなどが挙げられる。

## 【0 0 0 4】

また、このような木製品の業界だけに限らず、種々の材料を提供する業者や加工業者、商品製造業者などが独立しているような業界においても、不要となった材料や効率的に稼働していない加工設備などが存在している。

## 【0 0 0 5】

そこで、本発明では、上記問題に鑑み、従来需要の少なかった材料や効率的に稼働していない加工設備などに対する有効利用を図りつつ、需要者の要望に応える商品を生産するシステムなどを提供することを目的とするものである。

## 【0 0 0 6】

## 【課題を解決するための手段】

本発明は、上記課題を解決するために、材料提供者自らが提供し得る材料に関する情報を登録するとともに、加工業者も自らが提供し得る加工に関する情報を登録する。そして、特定の商品を購入しようとする者などによって、その商品に対する材料や加工に関する希望情報を入力させるようにし、これによって対応する材料情報や加工情報を出力するようにしたものである。

## 【0007】

このように、材料提供者や加工業者などが自ら提供できるものを登録し、需要者によってこのように登録された中から希望材料などを選択できるようにしたので、例えば、使用価値の少ない間伐材などを需要者を選択してもらうことによって、需要者のニーズに沿った材料や加工設備などを活用することができるようになる。

## 【0008】

なお、このように商品に対する材料などを需要者を選択してもらうようにした場合、最終的にその材料を使用して商品を作り込む時点で、商品の組み立てを行なえないなどの問題を生じることが考えられる。従って、好ましくは、最終的な製造メーカー側が商品の構成要素に対する要求仕様を提示し、この仕様に対応する材料情報や加工情報を登録してもらうことによって、この範囲内で需要者に材料や加工方法などを選択できるようにすると良い。このように構成すれば、完成品を製造するメーカー側としても、その商品に対する製造をスムーズに行なうことができるばかりでなく、商品に対する品質を向上させることができるようになる。

## 【0009】

また、特に従来需要の少なかった間伐材に関する登録を行なっておき、この間伐材に対する需要者の希望情報を受け付けて該当する間伐材の情報を出力するようにしたので、真に需要のある間伐材の有効活用を図ることができるようになる。

## 【0010】

## 【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について図を参照しながら説明する。

## 【 0 0 1 1 】

図 1 は、本発明のシステムを構成するシステム概略図であり、インターネットなどのネットワーク N を介して接続可能に設けられた複数のクライアントコンピュータ 1 ～ 4 とサーバコンピュータ 5 によって構成されたものである。このシステムにおいてクライアントコンピュータは、最終製品に組み立てる家具メーカーによって操作されるクライアントコンピュータ 1 と、間伐材を提供する森林組合などによって操作されるクライアントコンピュータ 2 と、材料の加工業者などによって操作されるクライアントコンピュータ 3 と、主に家具の購入者によって操作されるクライアントコンピュータ 4 とを備えており、また、これ以外にクライアントコンピュータ 1 ～ 4 によって入力された情報を記憶するサーバコンピュータ 5 とを備えて構成されるものである。なお、このサーバコンピュータ 5 は、これらのクライアントコンピュータ 1 ～ 4 の機能を兼用するようにしても良いが、本実施の形態においては、これらを独立のものとして構成するものとする。

## 【 0 0 1 2 】

この家具メーカー側に設けられたクライアントコンピュータ 1 は、家具メーカー自らが製造する商品や材料・加工などに対する要求仕様を入力するためのキーボードなどから成る入力手段 1 0 と、データ処理などを行なうための本体 1 1 と、所定の表示出力をするためのディスプレイなどから成る表示手段 1 2 とによって構成されるものであり、家具メーカー自身やこの関係者によって操作できる場所に設けられるようにしたものである。また、間伐材提供者側に設けられたクライアントコンピュータ 2 は、同じくキーボードなどから成る入力手段 2 0 と、本体 2 1 と、ディスプレイなどから成る表示手段 2 2 とによって構成されるものであり、家具メーカーによって提示された要求仕様に基づいて間伐材などの材料に関する情報を入力できるようにしたものである。また、加工業者側に設けられたクライアントコンピュータ 3 も、キーボードなどから成る入力手段 3 0 と、本体 3 1 と、ディスプレイなどから成る表示手段 3 2 とで構成されており、家具メーカーによって提示された要求仕様に基づいて製材や塗装などの加工に関する情報を入力できるようにしたものである。また、需要者側に設けられているクライアントコンピュータ 4 も同様に、キーボードなどから成る入力手段 4 0 と、本体 4 1 と、ディ

スプレイなどから成る表示手段42とで構成されており、家具メーカーによって提示された販売対象となる商品を検索できるようにするとともに、その商品に対する希望材料や加工方法などを選択もしくは検索できるようにしたものである。一方、サーバコンピュータ5は、これらのクライアントコンピュータ1～4に対して接続可能に設けられたものであり、クライアントコンピュータ1～4などと同じく入力手段50と、本体51と、表示手段52とで構成されており、これらのクライアントコンピュータ1～4によって入力された商品情報や材料情報、加工情報などを記憶して、需要者によってこれらの情報を選択もしくは検索できるようにしたものである。

## 【0013】

図2は、このように構成されたシステムの機能ブロックを示したものである。クライアントコンピュータ1～4やサーバコンピュータ5に設けられたCPU(11a、21a、31a、41a、51a)は、このCPU(11a、21a、31a、41a、51a)を備えているクライアントコンピュータ1～4やサーバコンピュータ5の各部を制御するものであり、各記憶手段(11b、21b、31b、41b、51b)に記憶されたプログラムによって作動するようにしたものである。また、入力手段(10、20、30、40、50)は、キーボードやマウスなどのように操作者の入力を受け付けるようにしたものであり、一方、表示手段(12、22、32、42、52)は、入力手段(10、20、30、40、50)によって入力された情報やネットワークNを介して送受信した情報などを表示するようにしたものである。

## 【0014】

記憶手段(11b、21b、31b、41b、51b)は、これらのクライアントコンピュータ1～4やサーバコンピュータ5のCPU(11a、21a、31a、41a、51a)に対する動作プログラムを記憶するとともに、このクライアントコンピュータ1～4などが設置されている環境に応じた情報を記憶するようにしたものである。例えば、サーバコンピュータ5の記憶手段51bには、図3のメモリマップに示すように、家具メーカー側が提示する商品情報や材料・加工に関する要求仕様や、材料提供者によって登録された間伐材などに関する情報、



加工業者によって登録された加工に関する情報などを記憶するようにしている。

【 0 0 1 5 】

すなわち、サーバコンピュータ 5 の記憶手段 5 1 b には、家具メーカーのクライアントコンピュータ 1 によって入力された商品情報記憶領域 6 と、間伐材提供者のクライアントコンピュータ 2 によって入力された材料情報記憶領域 7 と、加工業者のクライアントコンピュータ 3 によって入力された加工情報記憶領域 8 とを設けるようにしている。この商品情報記憶領域 6 としては、例えば、机、椅子などのように家具メーカーが販売する大分類としての商品名 6 0 と、この商品名 6 0 に対応して、例えば、学校用机、事務用机などのように小分類化したシリーズ商品名 6 1 の記憶領域を設け、更に、このシリーズ商品名 6 1 の品番 6 2 に対応して、この品番商品を構成する材料や加工方法などに関する要求仕様 6 3 を記憶するようにしている。この要求仕様 6 3 として、例えば、材料に関するものとしては、間伐材の産地、種類、大きさ、形状、数量などや、また、加工に関するものとしては、製材、乾燥、集成、二次加工、塗装などに関する情報が入力される。また、これらの材料や加工に対応する完成品のイメージ画像 6 4 などを品番毎に記憶してクライアントコンピュータ 4 に出力できるようにしている。

【 0 0 1 6 】

また、材料情報記憶領域 7 には、材料提供者の名称や所在地・連絡先などに関する主体情報 7 0 の他、材料提供者がネットワーク N を介してクライアントコンピュータ 2 から入力した材料情報 7 1 が記憶されている。この材料情報 7 1 としては、具体的に、家具メーカーの要求仕様に対応して入力された間伐材の産地、種類、大きさ、形状、数量などの他、納期、価格などを記憶するようにしている。

【 0 0 1 7 】

加工情報記憶領域 8 には、同じく加工業者の名称や所在地・連絡先などに関する主体情報 8 0 の他、加工業者がネットワーク N を介してクライアントコンピュータ 3 から入力した加工情報 8 1 を記憶するようにしている。この加工情報 8 1 としては、具体的に、家具メーカーの要求仕様に応じて入力された加工情報である製材可能サイズや能力、乾燥させうるサイズや乾燥時間、集成加工できるサイズや使用接着剤名、二次加工として NC ルータの有無や最大加工可能寸法、塗装種

類や塗装方法、納期、価格などの加工情報を記憶するようにしている。

【 0 0 1 8 】

また、通信手段（1 1 c、2 1 c、3 1 c、4 1 c、5 1 c）は、ネットワークNを介して他のクライアントコンピュータやサーバコンピュータ5と通信できるようにしたものであり、モデムなどによって構成されたものである。

【 0 0 1 9 】

なお、このように構成された機能ブロックにおいて、材料提供者側に設けられたクライアントコンピュータ2の入力手段2 0と通信手段2 1 cを制御するCPU 2 1 aおよびサーバコンピュータ5の通信手段5 1 cを制御するCPU 5 1 aが材料情報受付手段を構成し、加工業者側に設けられたクライアントコンピュータ3の入力手段3 0と通信手段3 1 cを制御するCPU 3 1 a、およびサーバコンピュータ5の通信手段5 1 cを制御するCPU 5 1 aが加工情報受付手段を構成している。また、家具メーカー側に設けられたクライアントコンピュータ1の入力手段1 0と通信手段1 1 cを制御するCPU 1 1 a、およびサーバコンピュータ5の通信手段5 1 cを制御するCPU 5 1 aが希望情報受付手段を構成し、さらに、サーバコンピュータ5の記憶手段5 1 bを制御するCPU 5 1 aや通信手段5 1 cが出力手段を構成している。

【 0 0 2 0 】

次に、このようにして構成されたシステムを用いて家具メーカーや材料提供者、加工業者などが所定の入力を行なうフローおよび、このように入力された情報をもとに需要者が所望の商品に対する材料や加工方法などを検索する場合のフローについて説明する。

【 0 0 2 1 】

まず、家具メーカーが販売対象となる商品や材料提供者などに対して仕様を要求する場合、家具メーカーのクライアントコンピュータ1をサーバコンピュータ5に接続して販売対象となる商品の登録画面情報を取得し（ST 1）、この情報に基づいて、基本アイテムである商品名、商品シリーズ名、サイズ、品番などを入力する。そして、この際、商品を構成する部品の要求仕様として、材料要求情報や加工要求情報などを入力し（ST 2）、サーバコンピュータ5の記憶手段5 1 b

に登録して間伐材提供者などの登録を可能にする（ST3）。この登録作業がなされた後に間伐材提供者側のクライアントコンピュータ2がサーバコンピュータ5に接続されると、サーバコンピュータ5からクライアントコンピュータ2に向けて材料提供の登録画面に関する情報が送信され、また、この際、既にサーバコンピュータ5の記憶手段51bに登録されている要求仕様63も送信される（ST4）。そして、このように受信した情報に基づいて、間伐材提供者が、自己の保有する間伐材の種類、サイズ、数量、価格などの材料情報の他、自己の所在地や連絡情報などの主体情報を入力して送信し（ST5）、サーバコンピュータ5における材料情報記憶領域7に記憶させる（ST7）。また、同様に加工業者側のクライアントコンピュータ3がサーバコンピュータ5に接続されると、サーバコンピュータ5からクライアントコンピュータ3に向けて加工情報の登録画面情報が送信され、またこの際、既にサーバコンピュータ5の記憶手段51bに登録されている要求仕様63も送信される（ST4）。そして、このように受信した情報に基づいて、加工業者が、自ら提供できる加工情報、例えば、製材、乾燥、集成、二次加工、塗装加工などをできる範囲を入力するとともに、加工工場の所在地や連絡情報などの主体情報を入力して（ST6）加工情報記憶領域8に記憶するようにする（ST7）。

#### 【0022】

そして、このように登録作業が行なわれたサーバコンピュータ5にアクセスして需要者が希望の商品を検索する場合、サーバコンピュータ5から提供された入力画面を用いて希望の商品、材料、加工情報などを入力するようにする（ST8）。

#### 【0023】

すなわち、需要者がサーバコンピュータ5にアクセスして所定のURLを入力すると、サーバコンピュータ5から初期画面に関する情報が送信され、図5および図6に示すように、需要者のクライアントコンピュータ4の表示部に見積や登録を行なうための画面を表示する（ST8a）。ここで、見積が選択されると、既に家具メーカーによって登録された基本商品の分類である商品名をサーバコンピュータ5の商品名の記憶領域60から読み出してクライアントコンピュータ4

に選択可能に表示し（ST8b）、この表示された項目の中の一商品、例えば、デスクを選択させることによって、このデスクに対応する商品シリーズ名をサーバコンピュータ5のシリーズ商品名の記憶領域61から読み出して選択可能に表示する（ST8c）。また、この商品シリーズ名が選択されることに対応して、この商品シリーズ名に対応する品番などをサーバコンピュータ5の品番に関する情報記憶領域63から読み出して選択可能に表示し（ST8d）、これらの項目を選択させることによって希望商品に関する登録を完了する。

## 【0024】

次に、このように選択された商品に対応して材料に対する需要者の希望を入力許可すべく、クライアントコンピュータ4のディスプレイに産地の希望に関する入力画面を提供し、所望の産地に関する入力を許可する（ST8e）。なお、この入力に際しては、直接キーボードを用いて希望産地を入力できるようにする方法の他、予めサーバコンピュータ5の仕様情報記憶領域63に登録されている産地情報を選択できるようにする。また、このように産地に関する入力が行なわれた場合、材種に関する希望情報も入力許可すべく、希望材種に関する入力画面をクライアントコンピュータ4に表示する（ST8f）。この場合も同様に、直接キーボードを用いて希望産地を入力できるようにする方法の他、予めサーバコンピュータ5の仕様情報記憶領域63に仕様として登録されている材種情報を選択できるようにする。

## 【0025】

そして、この材料に関する希望情報の選択入力が完了すると、この商品の仕様に対応して需要者が希望する加工方法などを入力許可すべく、クライアントコンピュータ4のディスプレイに表面仕上げに関する希望情報を入力できるようにするとともに、他の加工に関する希望情報を入力できるようにする（ST8g）。そして、最後に発注すべき数量の入力を受け付けることによって（ST8h）、これらの入力された条件をもとにサーバコンピュータ5の材料情報記憶領域6や加工情報記憶領域7を検索し、その登録されている材料提供者や加工業者の名称・所在地・連絡先などを主体情報記憶領域70、80から読み出してクライアントコンピュータ4に出力する（ST8i、ST9）。そして、この際、最終的な

商品の外観をイメージさせるためにサーバコンピュータ 5 の商品情報記憶領域 6 に記憶されているイメージ画像 6 4 をクライアントコンピュータ 4 に表示出力し、また、見積に対する回答として、選択された材料や加工情報に基づく価格を積算して概略価格として表示する。更に、選択された材料や加工方法などに対応して、材料情報記憶領域 7 および加工情報記憶領域 8 に記憶されている納期に関する情報を積算して概略納期を出力し、クライアントコンピュータ 5 のディスプレイに表示する。

【 0 0 2 6 】

このように本実施の形態によれば、材料提供者が自ら提供し得る材料に関する情報や、また加工業者自らが加工サービスを提供できる範囲を登録し、需要者によってこれらの材料や加工方法などを選択させるようにしたので、材料提供者や加工業者などは自ら需要者のニーズを把握することなく、需要者のニーズに適合した材料や加工を提供することができる。また、本実施の形態においては、材料として、需要の少ない間伐材を用いるようにし、このように登録された間伐材を需要者によって選択してもらうようにしたので、需要に即した間伐材の活用を行なうようにすることができる。

【 0 0 2 7 】

また、このような材料や加工方法を自由に選択できるようにしたシステムにおいて、最終製品を作るメーカーが材料や加工に関する要求仕様を開示するようにしたので、家具メーカー側にとっても、製造時点における材料や加工における不具合をなくすことができ、また、材料提供者や加工業者側にとっても、自らが開示すべき情報の範囲が明確となるので、登録作業をスムーズに行なうことができるようになる。

【 0 0 2 8 】

なお、本発明は、上記実施の形態に限られることなく種々変更することができる。すなわち、本発明の実施の形態においては、間伐材の選択と加工業者の選択の両方を行なうようにしたが、これに限らず、間伐材のみを選択することもできる。また、材料の一例として間伐材を例にとって説明したが、これに限らず、例えば蒲鉾を作るために魚を調達して加工する分野などのように、材料調達と加工

業務とが独立している分野全てに適用することができる。

【 0 0 2 9 】

また、本実施の形態においては、サーバコンピュータ 5 をクライアントコンピュータ 1 ～ 4 と別体として説明したが、これに限らず、例えば、家具メーカー側のクライアントコンピュータ 1 とサーバコンピュータ 5 とを一体として設けるようにしても良い。また、それぞれのクライアントコンピュータ 1 ～ 4 についても、他のクライアントコンピュータと兼用するように設けても良く、例えば、家具メーカー側のクライアントコンピュータ 1 と需要者側のクライアントコンピュータ 4 とを兼用するように設けるようにしても良い。この場合、家具メーカーが自治体に対して会議用デスクなどを大量に納入するに際して、家具メーカー自らがこの自治体内の材料提供者や加工業者を選択し、これによって自治体における地域振興を図るようにすることもできる。

【 0 0 3 0 】

更に、本実施の形態においては、希望する商品や材料・加工に関する情報の入力を受け付けてサーバコンピュータ 5 内で検索を行ない、その適合する結果情報を出力するようにしているが、これに限られるものではない。これ以外の方法としては、希望情報を選択入力する際、商品情報記憶領域 6 や材料情報記憶領域 7 、加工情報記憶領域 8 などに記憶されている情報を全てクライアントコンピュータ 4 のディスプレイに表示しておき、この表示された項目の中で選択できるようにする方法を採用しても良い。特に、サーバコンピュータ 5 に登録されている材料情報や加工情報などが少ない場合は、検索に対する入力時間や検索時間の短縮化を図ることができる。

【 0 0 3 1 】

【発明の効果】

このように、本発明においては、材料提供者自らが提供し得る材料に関する情報を登録するとともに、加工業者も自らが提供し得る加工に関する情報を登録するようにする。そして、特定の商品を購入しようとする者などによって、その商品に対する材料や加工に関する希望情報を入力させるようにし、これによって対応する材料情報や加工情報を出力するようにしたので、需要者自らが材料や加工

形態を選択することができ、より需要者の好みに適した商品を作ることができるようになる。

#### 【 0 0 3 2 】

また、このように、材料や加工に関する情報を登録する際、予め商品の構成要素に対する要求仕様を開示し、この仕様に対応する材料や加工に関する情報を登録するようにしたので、完成品を製造するメーカー側としても、その商品に対する製造をスムーズに行なうことができ、また、その商品に対する品質を向上させることができるようになる。

#### 【 0 0 3 3 】

また、従来需要の少なかった間伐材に関する登録を行なっておき、この間伐材に対する需要者の希望情報を受け付けて該当する間伐材の情報を出力するようにしたので、真に需要のある間伐材の有効活用を図ることができるようになる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の実施の形態を示すシステムの概略図。

【図 2】 同形態におけるシステムの機能ブロック図。

【図 3】 同形態におけるサーバコンピュータのメモリマップ。

【図 4】 同形態におけるシステム全体のフロー。

【図 5】 同形態における需要者のクライアントコンピュータの画面フロー。

【図 6】 同形態における需要者のクライアントコンピュータの画面フロー。

#### 【符号の説明】

- 1 . . . クライアントコンピュータ
- 2 . . . クライアントコンピュータ
- 3 . . . クライアントコンピュータ
- 4 . . . クライアントコンピュータ
- 5 . . . 材料加工情報出力装置（サーバコンピュータ）
- 2 0 . . . 材料情報受付手段（入力手段）
- 2 1 a . . . 材料情報受付手段（CPU）
- 2 1 d . . . 材料情報受付手段（通信手段）
- 3 0 . . . 加工情報受付手段（入力手段）

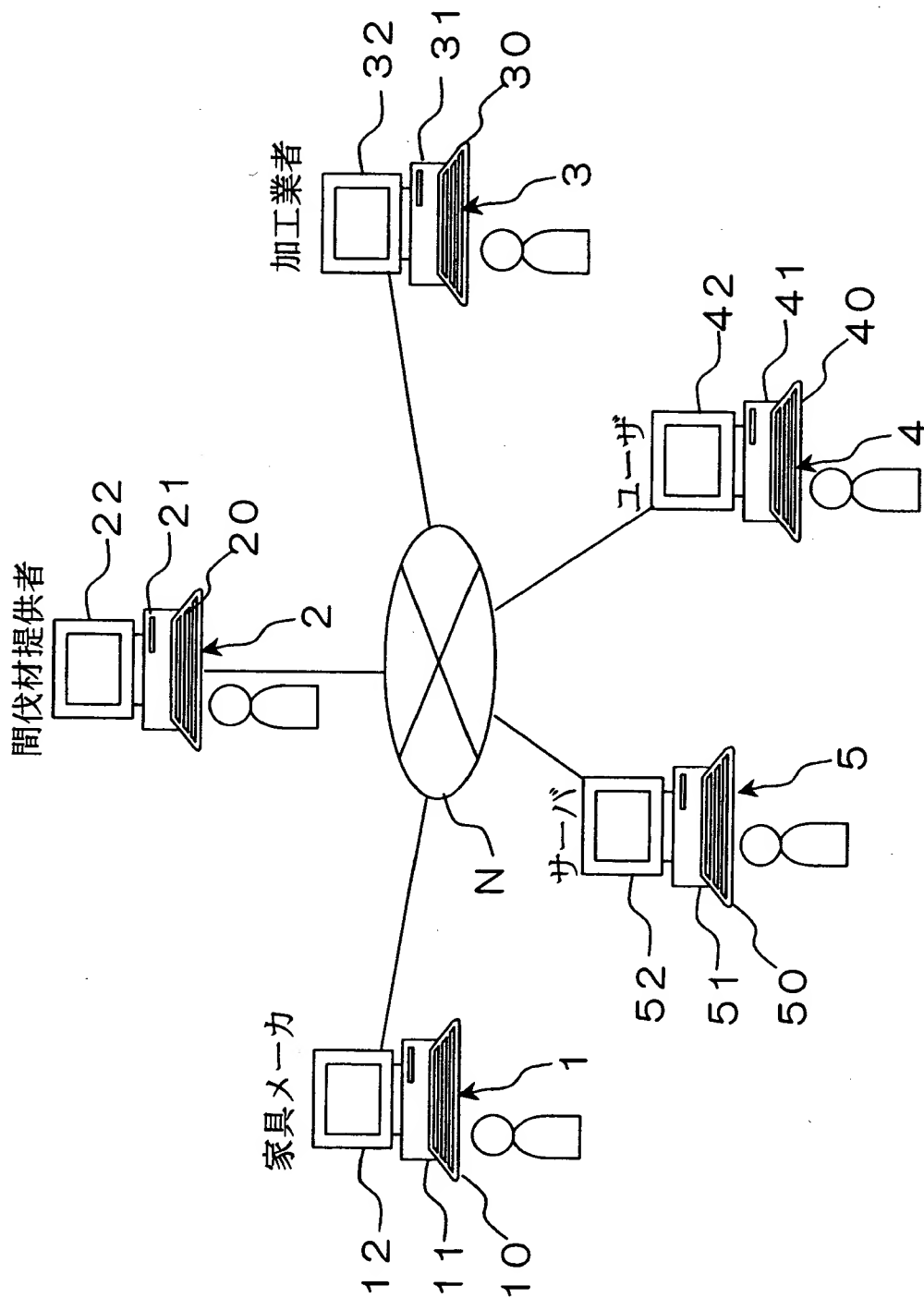
- 3 1 a . . . 加工情報受付手段 (CPU)
- 3 1 d . . . 加工情報受付手段 (通信手段)
- 5 1 a . . . 出力手段 (CPU)
- 5 1 d . . . 出力手段 (通信手段)
- 5 1 b . . . 仕様情報記憶手段、材料情報記憶手段、加工情報記憶手段 (記憶手段)



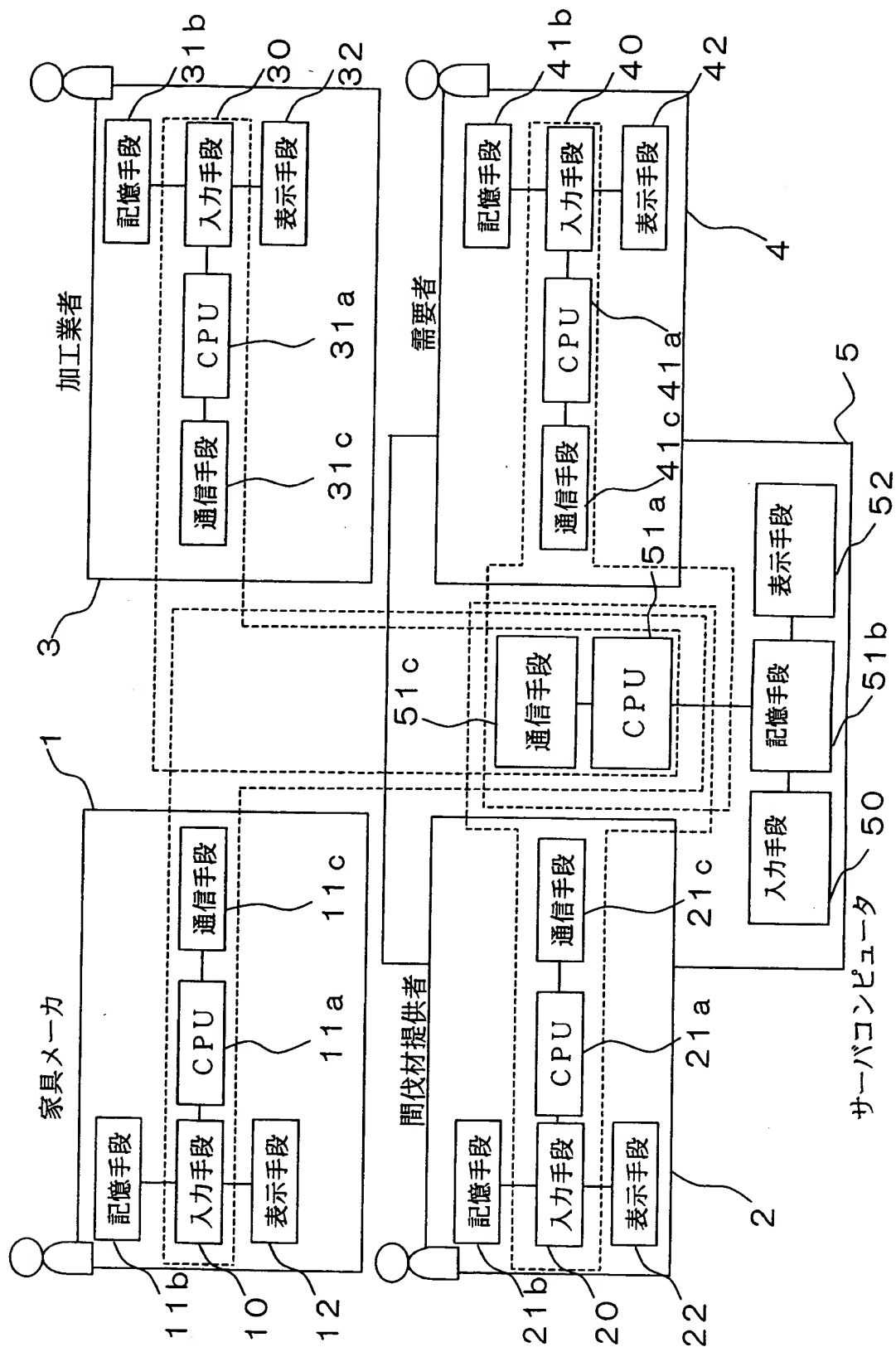
【書類名】

図面

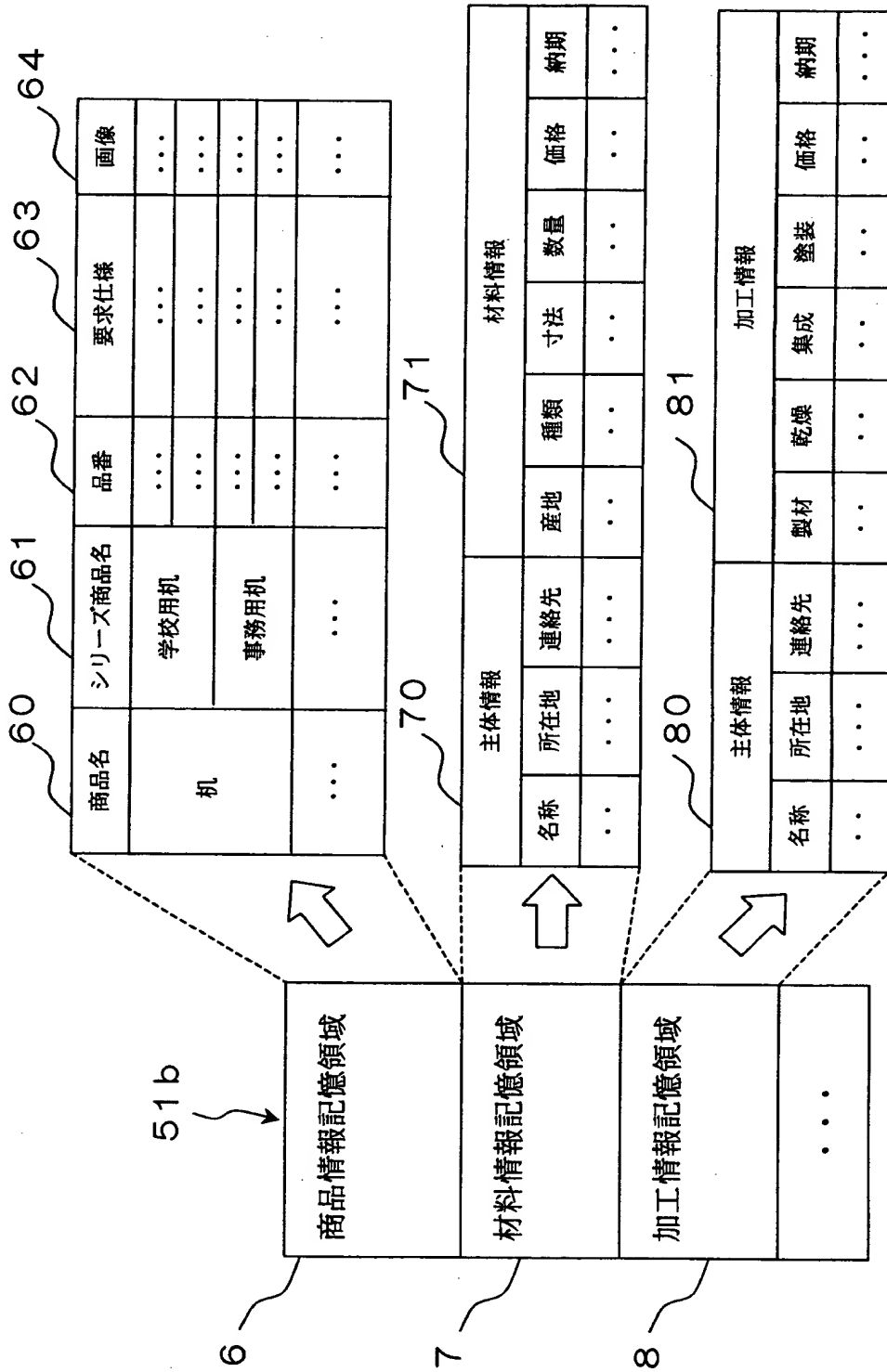
【図1】



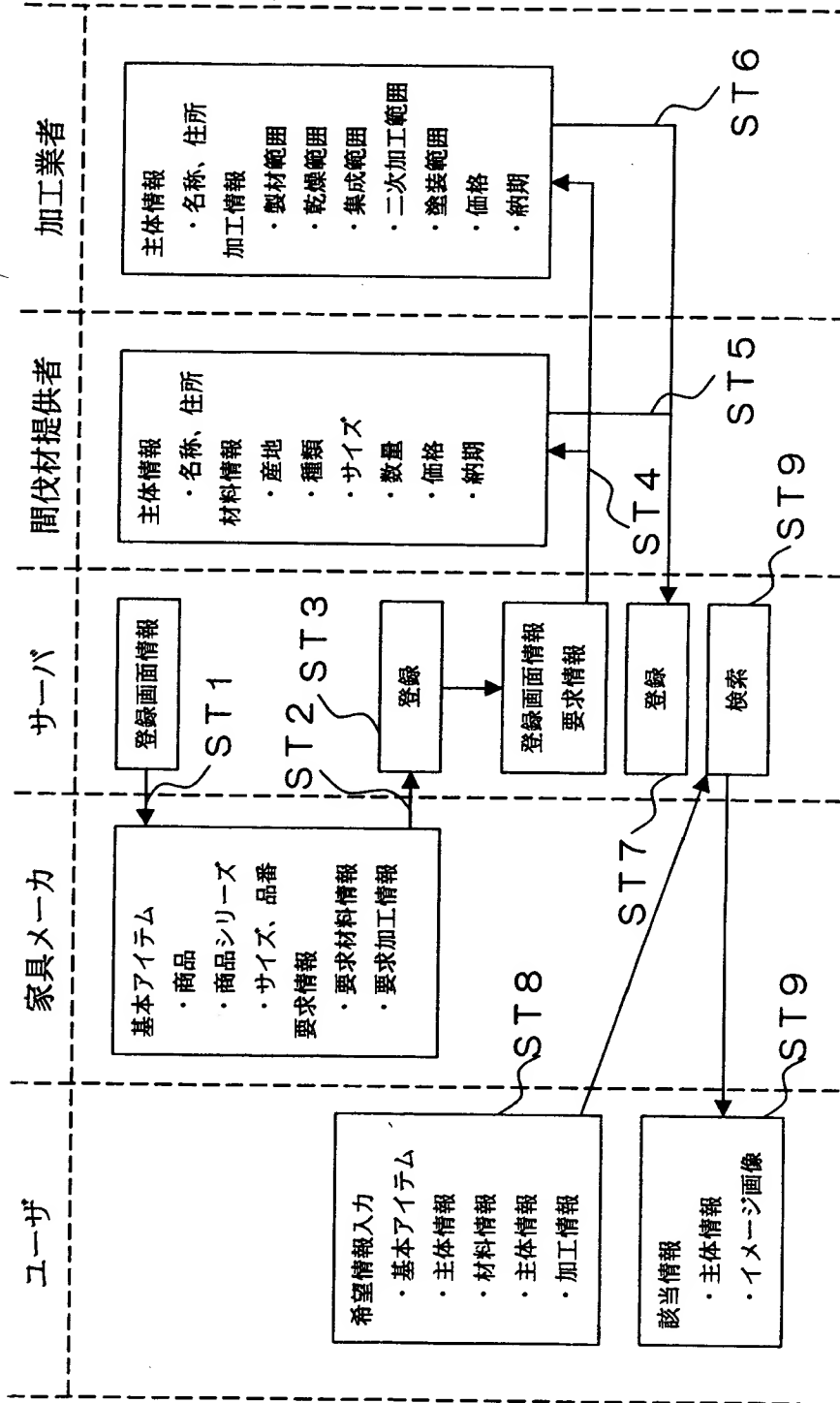
【図 2】



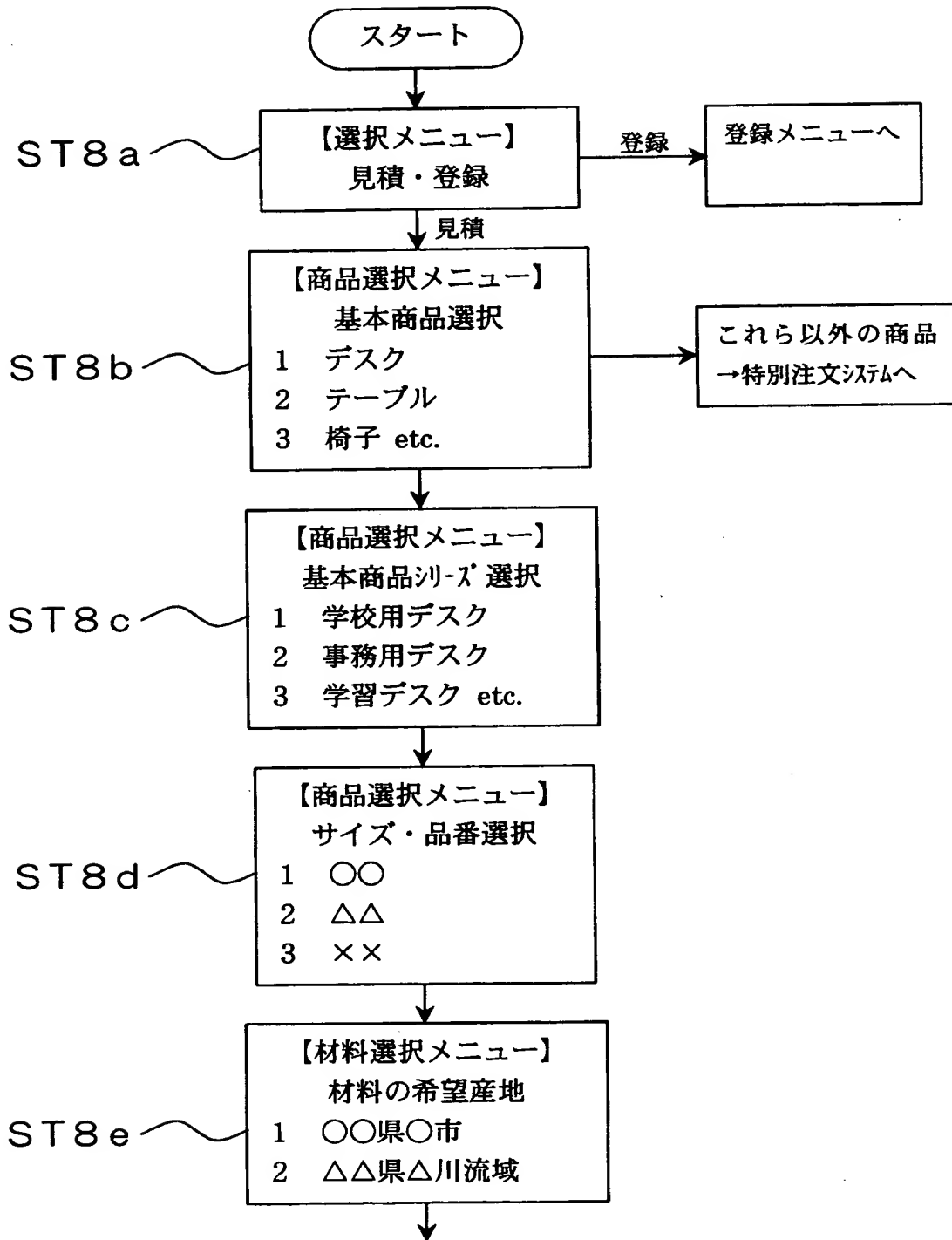
【図3】



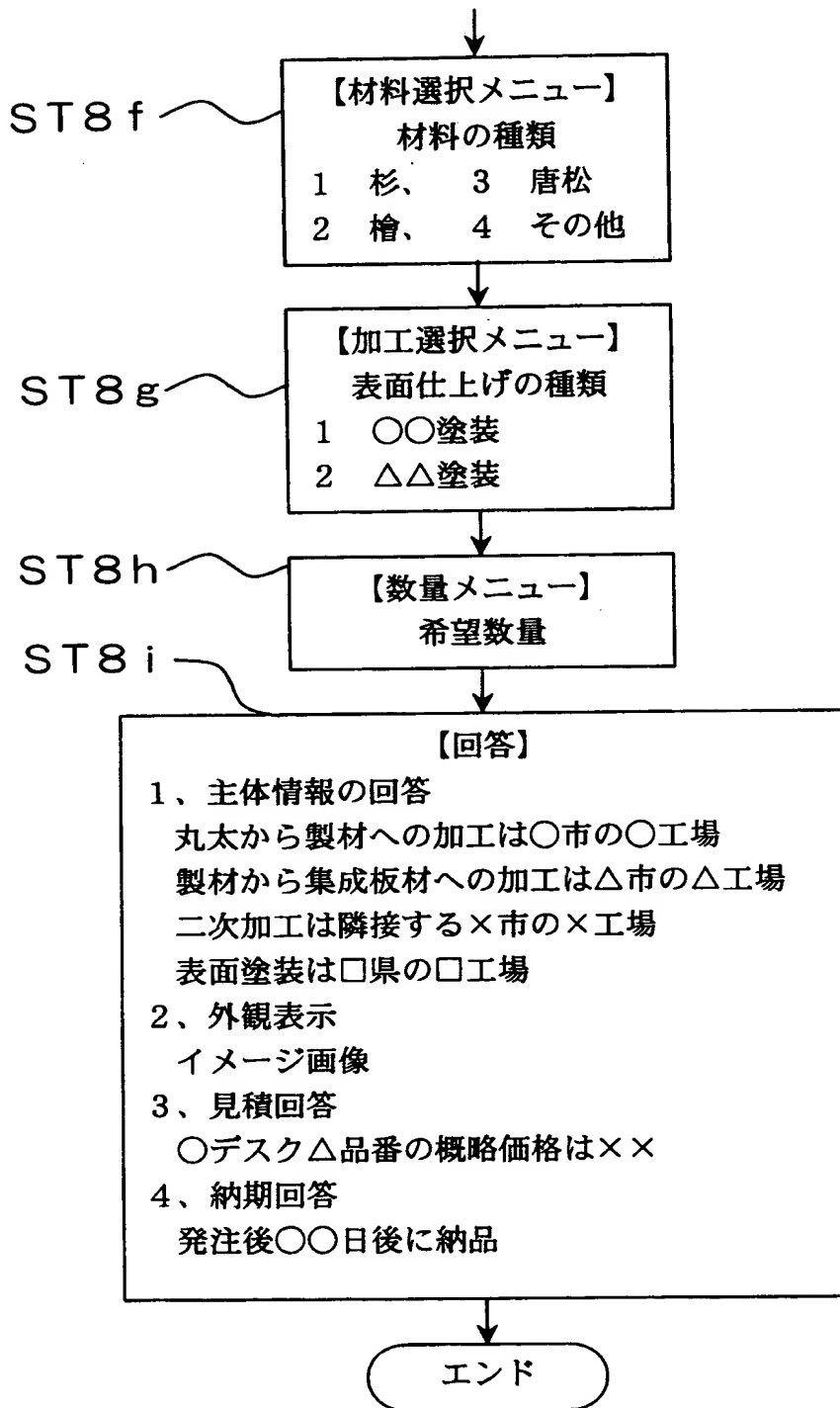
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】従来需要の少なかった材料や効率的に稼動していない加工設備などに対する有効利用を図りつつ、需要者の要望に応えうる商品を生産するシステムなどを提供することを目的とするものである。

【解決手段】最終的な製造メーカー側から商品の構成要素に対する要求仕様を提示し、この要求仕様に対応して材料提供者自らが提供し得る材料に関する情報を登録するとともに、加工業者も自らが提供し得る加工に関する情報を登録するようにする。そして、特定の商品を購入しようとする者などによって、その商品に対する材料や加工に関する希望情報を入力させるようにし、これによって対応する材料情報や加工情報を出力するようにしたものである。

【選択図】 図4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001351]

1. 変更年月日 1990年 8月23日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 大阪府大阪市東成区大今里南6丁目1番1号  
氏 名 コクヨ株式会社